

第6回「エスペラントの日」 記念公開講演会

La 6-a Publika Prelegkunveno memore al Japana Tago de Esperanto

国際共通語エスペラントの普及活動が国内で本格化した、日本エスペラント協会創立日
1906年6月12日を「エスペラントの日」と定め、記念公開講演会を行っています。どなたでもご参加いただけます。

田中克彦氏（一橋大学名誉教授）



言語学はエスペラントをどう扱ったか — 大島義夫の忘れてはならない功績

19世紀後半の言語学は、言語が一定の法則に従って進化する自然の有機体である、というモデルを確立した。そのモデルから外れたエスペラントを擁護したのはソビエトの言語学であり、大島義夫(1905-1992)はその本質部分を翻訳、紹介した。

ビル・マク氏（京都大学人文科学研究所／白眉センター准教授）



梅棹忠夫の足跡

（用語：エスペラント、通訳付き）

梅棹忠夫(1920-2010)は京都大学教授として、また国立民族学博物館長として、日本社会に著しい影響を与えた。梅棹とエスペラントとの親密な関係にも注目すべきものがある。現在の諸問題に関する梅棹の対応を取り上げ、それらに対して言語・文化の多様性が果たす役割についてふれたい。

日時：**2015年6月21日(日)**
午後**2時～5時**

会場：エスペラント会館4階教室

東京都新宿区早稲田12-3
地下鉄東西線「早稲田」駅下車、
出口1(神楽坂寄り)左斜め前

参加費：500円

主催・お申込み：

一般財団法人

日本エスペラント協会

☎ 03-3203-4581

ファックス 03-3203-4582

メール esperanto@jei.or.jp

ホームページ <http://www.jei.or.jp/>

📖 当日は関連図書の展示即売とエスペラント古本市を行います。📖



ユネスコがエスペラントを支持して60年。
エスペラントは、ユネスコの目的と理想に
一致すると、モンテビデオ(ウルグアイ)の
ユネスコ総会で認定されました。

